

イベントの概要

本年9月1日に、関東大震災から100年を迎えることから、災害への備えを考えるきっかけとなるよう、

- ・ こども霞が関見学デーにおけるワークショップ（非常食をおいしくアレンジ）
- ・ 消費者の部屋の展示（非常食の歴史と進化）を実施。

ワークショップ（8月2日（水）、場所：農林水産省講堂）

親子19組54人が参加し、アルファ化米やカップラーメンのアレンジレシピを調理・試食。

○トマトスープでアルファ化米のリゾットをつくろう！



講師（尾西食品株式会社 栗田雅彦部長）による実演



アルファ化米に湯せんしたトマトスープを入れた、簡単リゾットを調理



アルファ化米のトマトリゾット

○栄養満点 アレンジカップラーメンをつくろう！



講師（料理家・栄養士 小池桂子先生）による実演



ピーラーとお湯で簡単に調理でき、栄養バランスも考慮したカップラーメンを試食



防災食「しゃきしゃきポテト&ツナコーンラーメン」

消費者の部屋の展示（7月31日（月）～8月10日（木））

- ・ 関東大震災における食料事情を振り返るとともに、
軍用食をはじめとし、宇宙食にまで進化を遂げたアルファ化米や、乾パンの歴史を紹介。
- ・ 食品の家庭備蓄に無理なく取り組むためのローリングストックガイドや、備蓄におすすめの長期保存可能な食品、
災害時の即席めん活用術等を展示。
- ・ この他、ミニコーナーとして、基本法見直しのアウトリーチ活動の一環として「食と農業の歴史」を展示。
「我が国の食と農業がどのように変わってきたのか」を示しつつ、来場者が「自分たちに何ができるか」を付箋に記載。
- ・ 9日間で延べ2,317人が来場。
- ・ 終了後、民間企業・団体の防災イベントで本展示の展示物が活用されるなど、取組が波及。



7/31
神奈川県の子童クラブの団体が
食と農業の歴史コーナーで
自分たちができることを思考



8/2～8/3
こども霞が関見学デー開催日には
沢山の親子が来場



8/4・8
富山県の魚津高校と福岡県の嘉穂(カホ)
高校の生徒が来場し、関東大震災に
おける食料事情等を学習

協力いただいた団体と企業（ありがとうございました）

<団体>

全日本菓子協会（一社）全日本スパイス協会（一社）日本災害食学会（一社）日本即席食品工業協会（一社）防災安全協会

<企業>

アルファフーズ（株） 井村屋（株） 江崎グリコ（株） 尾西食品（株） カゴメ（株） さとの雪食品工業（株） 三立製菓（株） 東洋水産（株） 日清食品（株）
ハウスギャバン（株） （株）ベジタルアドバンス（株） 不二家（株）ブルボン マルキ（株） 三徳屋（株） 森永製菓（株）（株）ユニーク総合防災（株）ロッテ ほか
※アイウエオ順